

# 生活者通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.374  
2022.11.1

## 東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク  
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル4・5階  
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274  
Eメール tokyo@seikatsusha.net  
URL https://www.seikatsusha.net  
発行責任者 山内玲子  
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417  
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

### 生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)**  
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に**  
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**  
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでカンパ(金)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

### 都議会ネット

■都が同性とパートナー関係にある都民に対し、公的にその関係性を認める「東京都パートナーシップ宣誓制度」運用開始。11月27日、中学3年生対象の英語スピーキングテスト実施(東京都教育委員会)。

### 地域ネット

#### 品川ネット

11月27日(日)告示、12月4日(日)投票の品川区議会議員補欠選挙に、新人のいながき孝子を擁立予定 03-5751-7105

#### 葛飾ネット

議会報告&学習会  
11月12日(土) 14:00~16:30 カナマチぶらっと第2集会室(京成金町駅) / オンライン併用  
第3回定例議会報告&学習会「お金の流れと食の未来~金融機関の社会的責任とは」講師:野川未央(NPO法人APLA) 03-5876-4757  
katsushika@seikatsusha.net

#### 中野ネット

第5回オープン・オフィス・デイ  
11月19日(土) 10:30~12:00 中野・生活者ネットワーク事務所orスマイル中野会議室A・B(中野駅)  
何気ない景観 実はまちの宝? 中野の魅力を再発見! 300円 03-5942-6793

#### 練馬ネット

オンライン朝活!心と体をほぐすストレッチ  
11月22日(火) 9:30~10:30 オンライン ストレッチ20~30分とおしゃべりタイム トレーナー:やまさきまりも(国際ヨガ協会トレーナー/練馬・生活者ネットワーク政策委員) 03-3993-4899  
info@nerima-net.gr.jp

#### 府中ネット

高齢期のよりよい在宅療養について学習会  
12月4日(日) 9:30~11:30 府中市市民活動センター・プラッツ6階第5会議室(府中駅) / オンライン併用 訪問介護、訪問看護の専門職からお話をきく 042-360-4443 fuchu-snet@richi-ho.ne.jp

#### 清瀬ネット

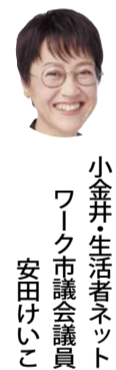
憲法学習会「檻の中のライオン」  
12月17日(土)10:00~12:00 生涯学習センター6階講座室(アミュー内)(清瀬駅) 講師:椋大樹(はんどう・たいき)(弁護士) 参加費未定 主催:きよせ地域協議会 042-494-8720

生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・区議40人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。  
**東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。**



上・左:「子どもオンズパーソン通信01号」東京都の補助金を活用し、ロゴやデザインはデザイナーと相談員が一緒に考えた。相談室は新築の民間ビル4階にある。右:ノートは、小金井市が子どもオンズパーソン開設にあたり企画した子ども参加イベントの数種類ある景品の一つ

2019年、小金井・生活者ネットワーク前市議の田頭ゆう子の提案で、市は「子どもの実感調査」を実施。そこでは悩みを「誰にも相談できない」「子どもが8人に一人いることがわかりました。この調査の前年、市議会が市民団体「いかにそう」子どもの権利条例の会」が出した「子どもオンズパーソン」の設置を求める陳情」を採択しました。



小金井・生活者ネットワーク市議会議員 安田けいこ

2009年の子ども権利条例制定後も、いじめ、不登校などで「困っている」市内の子どもの数は増え続け、この10年間で子ども自死も増えました。深刻な子どもの権利侵害があつても救済に動かない市に対し、市民が議会に働きかけ動かそうとしたものです。

「先生、どうにかできませんか」と訴えたにもかかわらず虐待死した野田市の心愛さんを忘れることはできません。安心して「助けを求めていい」という認識が持てない限り、「子どもはSOSを発信することはありえない」と、早稲田大学大学院体罰調査プロジェクトチーム調査報告にもあります。24年前、兵庫県川西市は「子どもの実感調査」により「生きているのが嫌になるほど辛い」思いをしている子どもがいてとわかったことから、日本で初めて子どもオンズパーソンを設置しています。

#### 岸田政権、原発帰帰へ急旋回

ロシアのウクライナ侵攻に対する米とNATO同盟国による厳しい制裁に対して、ロシアは天然ガス供給を絞る西諸国をエネルギー危機に陥らせている。NATOに加担する日本もその影響を受けているが、8月岸田政権はチャンス到来とばかり脱炭素とエネルギー安定供給を理由に原発再稼働の促進と建替え、新增設、新型炉計画まで打ち出してきた。

さらに経産省は10月5日「原則40年、例外的に20年延長」という原発の運転期間に関する規定を原子炉等規制法から削除するとの方針を出した。運転期間の制限は東電福島第一原発事故の翌年、老朽原発の事故を防止するために与野党一致で原子炉規制法を改正したものである。

現行法の下では40年を超える前に延長審査を請求し新たな安全対策が必要である。審査に合格しても運転開始までさらに様々な費用がかかる。柏崎刈羽原発6、7号機の安全対策費用は1兆2000億円、東海第二原発は2300億円に上る。延長できなければ40年超の原発は廃炉になる。資産は逆に負債となり、廃炉解体費用が重くのしかかる。だから電力会社は原子炉規制法を改悪して運転期間規定を削除したいのである。

#### 福島原発「緊急事態」解除の見通しはない

福島原発事故による放射能汚染、避難した被害者に対する損害賠償も終わっていない。子どもたちの被ばくによる甲状腺障害の手術は300人を超えている。だが政府や福島県、東電は因果関係を認めようとしていない。甲状腺障害の子どもたちは1月に損害賠償を求めて提訴し、裁判が始まった。

大熊町の帰還困難区域の一部、除染した復興拠点は区域指定

ワクワクするイベントから出発—子どもオンズパーソン相談室は子どもの居場所

夏休み中の小金井のまちには、「オンズパーソン」の挑戦状 公衆電

話を探せ!」のチラシを手にした子どもたちが、公衆電話を探して歩く姿がありました。

これは9月から小金井に初めてできる「子どもオンズパーソン」を知ってほしいと、市が企画した開設記念イベントです。子どもが市内にある公衆電話からフリーダイヤルで電話をかけ、「叶えてほしいお願いごと」をメッセージで残すと、後日、子どもオンズパーソン相談室で景品を貰えます。期間中の電話件数は408件あり、9月以降、相談室には80人の子どもが景品を取りに来ました。なかには「また遊びに来たい!」という子どももいたそうです。

2009年の子ども権利条例制定後も、いじめ、不登校などで「困っている」市内の子どもの数は増え続け、この10年間で子ども自死も増えました。深刻な子どもの権利侵害があつても救済に動かない市に対し、市民が議会に働きかけ動かそうとしたものです。

「先生、どうにかできませんか」と訴えたにもかかわらず虐待死した野田市の心愛さんを忘れることはできません。安心して「助けを求めていい」という認識が持てない限り、「子どもはSOSを発信することはありえない」と、早稲田大学大学院体罰調査プロジェクトチーム調査報告にもあります。24年前、兵庫県川西市は「子どもの実感調査」により「生きているのが嫌になるほど辛い」思いをしている子どもがいてとわかったことから、日本で初めて子どもオンズパーソンを設置しています。

2009年の子ども権利条例制定後も、いじめ、不登校などで「困っている」市内の子どもの数は増え続け、この10年間で子ども自死も増えました。深刻な子どもの権利侵害があつても救済に動かない市に対し、市民が議会に働きかけ動かそうとしたものです。

「先生、どうにかできませんか」と訴えたにもかかわらず虐待死した野田市の心愛さんを忘れることはできません。安心して「助けを求めていい」という認識が持てない限り、「子どもはSOSを発信することはありえない」と、早稲田大学大学院体罰調査プロジェクトチーム調査報告にもあります。24年前、兵庫県川西市は「子どもの実感調査」により「生きているのが嫌になるほど辛い」思いをしている子どもがいてとわかったことから、日本で初めて子どもオンズパーソンを設置しています。



経産省前テントひろばとたんぼぼ舎のよびかけで、毎月第一水曜日に取り組まれている。東電本店合同抗議・申し入れ行動。「東電は原発事故の責任をとれ」と訴え、この11月2日は110回目となる

が解除されたが、周囲の山野の汚染レベルは高い。双葉町、浪江町も同様で病院やスーパーなど生活インフラが整っておらず帰還する旧住民は1割程度である。

事故から11年たっても熔融落下した核燃料の状態もわからず、汚染水はたまる一方ですでに130万トンに達している。政府は農漁民や隣国からの反対の声を押し切って海洋投棄する方針で、東電は海底トンネルを掘り排水路づくりをしている。汚染水の海洋投棄は漁協の同意を得ないまま実施されようとしており、政権のざり押しの象徴としてある。

原子力利用は根本的に誤っている。原発から生ずる高レベル放射性廃棄物は10年以上の管理が必要である。子孫に負の遺産を残さぬために直ちに全原発を中止・廃炉にすべきで、推進などもっての外である。



菅井益郎 國學院大学名誉教授



Information

沖縄「復帰」50年を問う

命めくすーじ 舞い遊ば

11月19日(土) 14:00～ 林野会館大ホール(文京区大塚3-28-7/茗荷谷駅7分) 「生きていることを祝って踊り遊ばしよう」 お話:源啓美、琉球舞踊:源啓美・上原えみこ・でいごの会、うた・三線:ナグシクヨシミツ ほか 前売り1500円、当日券2000円 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 090-3910-4140

第24回朝鮮文化とふれあうつどい

11月27日(日)10:30～15:00 府中公園(府中駅北口8分) フリーマーケット、パフォーマンス、模擬店、写真展 特別ライブ[朴保/李政美] 13:00～ 後援:東京都・府中市 主催:チマ・チョゴリ友の会 TEL・FAX03-3321-6677

「食の安全を守る人」上映と講演会

12月11日(日) 10:30～13:00 / 14:00～16:30 大田文化の森大ホール(JR大森駅西口16分、大森駅・池上駅よりバス「大田文化の森」下車) 映画上映、講演:山田正彦(元農林水産大臣) 前売り800円、当日券1000円 上映実行委員会大田 090-6494-0574 tanemamoruota@gmail.com



「英語スピーキングテストの都立高校入試への活用中止のための都議会議員連盟」発足の記者会見。10月13日

11月1日から性的マイノリティの同性パートナーシップ宣誓制度が始まりました。生活者ネットワークも、当事者からの意見を聞きながら求めてきた制度の一つです。証明書によって都営住宅の入居申し込みなどの行政サービスに活用できます。社会全体に理解が進むよう、広報・周知を求めていきます。

同性パートナーシップ宣誓制度がスタート!

都議会生活者ネットワークは、リプロダクティブヘルス/ライツの視点で、中学生の性の悩みに応えたり、正しい知識を得るための場を提案してきました。10月から都立高校10校で産婦人科医による相談と電話相談が始まりました。だれでも相談しやすい体制を求めていきます。

ユースヘルスケア相談10月から開始

生活者ネットワークは、これまで食の安全・安心や環境保全の観点から、国内自給率の上昇、地産地消や有機農業の推進を提案してきました。食料も含めた輸入品の値上がりや機に、今こそ食の安全保障の観点からも自給率アップが必要で、木材についても多摩産材をはじめ国産材活用への転換が重要であり、積極的に進めていきます。

生活者ネットワークは、これまで

食の安全・安心や環境保全の観点から、国内自給率の上昇、地産地消や有機農業の推進を提案してきました。食料も含めた輸入品の値上がりや機に、今こそ食の安全保障の観点からも自給率アップが必要で、木材についても多摩産材をはじめ国産材活用への転換が重要であり、積極的に進めていきます。

コロナ対策、物価高騰、脱炭素化にむけた補正予算 6029億円

コロナ対策、電力ひっ迫や物価高騰などから都民の暮らしを守るための対策と脱炭素化を進めるための6029億円の補正予算が可決。その中でたい肥等の利用促進や国産木材流通促進の取り組みなどが新規に計上されました。化学肥料の価格高騰に対する対策ですが、輸入化学肥料から国内産の肥料・たい肥に転換することで資源循環をはかり、環境保全型農業、エコ農産物を促進することが食の安全につながると考えます。

品川区長選挙(再選挙)にともない執行される品川区議会議員補欠選挙(定数2)にいながき孝子と品川ネット再チャレンジします!

品川区議会議員補欠選挙(定数2)にいながき孝子と品川ネット再チャレンジします!

品川区議会議員補欠選挙(定数2)にいながき孝子と品川ネット再チャレンジします!

品川区長選挙(再選挙)にともない執行される品川区議会議員補欠選挙(定数2)にいながき孝子と品川ネット再チャレンジします!



初めての選挙戦。日替わりのように支援者の方や生活者ネットのみなさんが都内各地から集まり、真にボランティアの選挙戦の応援をして下さった。地方自治体の補欠選挙に、これほどに多くの方々に関わるのだとは思わなかった。その方たちの思いを受けとめ、一票を託してくれた方たちの思いに報いることができなかったことは残念だが、とても貴重な経験ができた。こうした機会をいただけたことに、感謝したい。幸いにも、区長選が再選挙となったことにもない区議補選も執行される。初めての選挙で勝ちつたこと、足りなかったことを肝に銘じ、次なる補選に元気にチャレンジします。 いながき孝子

品川・生活者ネットワーク代表 元区議会議員 井上八重子